



# 視 点 の さくら

SAKURA'S PERSPECTIVE

さくらの代表 松本緑が感じる最近の出来事を「さくらの視点」からわかりやすく解説します。



## シャボン玉のバリア

街のスーパーでさくらの子どもたちにはびつたり会った時、自閉症スペクトラムのお子さんは、表情がフリーズすることがあります。毎回さくらではにこやかに話したり一緒に遊んだりするのに、何とよそよそしい!!もしかして私の事嫌いだっただのかしら??と思う程の無表情です。

街で突然会うということが、彼らにどんな影響を与えているのでしょうか。私はさくらとセットで彼らのバリアを通過できているわけです。突然単体で目の前に現れては処理が追いつかないですね。ショックを通り過ぎてフリーズするしかないような目をしていました。『先生ここにいないで!』とお願いされてしまったような気分です。『あーごめんごめん、すぐに立ち去るからね!』とお母さんとのご挨拶も手短に立ち去るようにしています。

彼らにとつて突然の侵入は一番恐ろしく、精神を疲れさせることがよくわかります。それぞれの子どもがそれぞれの安全基地のようなシャボン玉の中に入って暮らしているようです。安心していれば大きいサイズのシャボン玉の中のびのびと楽しみ、他の子どももシャボン玉ともくつき交わり共に楽しみます。しかし知らない場所や慣れない場所では、とても小さなサイズのシャボン玉になっています。誰しも心のバリアと言われる心理的距離を保ちながら人と関わりますが、他者の心情や場の状況を推測することが苦手な彼らは、日常に予測不能なことが多過ぎるゆえにより強固なガードを身にまっています。

先日ある学校の先生がスーパーバイズにお越しになりました。生徒との関係が上手く結ばず困り果てておられました。スーパーバイズとは担任の先生にさくらで指導している生徒さんの様子をご覧いただきご相談に応じるものです。その日も指導の途中から教室に入って頂く予定でした。A君も先生が来ることを嬉しそうに話していました。なのに先生の姿が見えるや否やフラッシュバックが起きたようで、突然先生を押し退けて部屋から追い出し、先生に手や足も出ています。その変貌を見て急きよ隣の部屋からガラス越しに見学頂くことになりました。するとガラスのドアを挟んでニコニコ手を振りながら嬉しそうですがやや感情が不安定にアップダウンしているようです。後程学校での様子を伺いました。一対一の場面では

穏やかに過ごせるようですが、支援級のお友だちが教室に戻ってくるとお友だちを押し退けて教室から追いつまうようです。叩いたり髪を引っ張ってしまふようです。大好きなお友だちなのになぜそんなことをするのか、危険なので『ダメでしょ』と押さえるしかなく。それで先生のお顔にひっかき傷なのですね。

A君のシャボン玉のバリアが守られていないんですね。予測できない突然に見える侵入に驚いているわけです。7人の子どもにも教師が1人。複数の子どももいる教室です。シャボン玉が壊れない手立てが必要ですね。破裂の目に合わないようにはあげなければなりません。学校生活を送れません。パーテーションで安全地帯を作ってあげることも一つですね。人の突然のテリトリーへの侵入が怖いわけですから、お友だちがいつお部屋に戻ってくるのかを予告しておく必要もありますね。タイマーで心の準備を手伝ってあげるのも一つですね。

よく耳にするパニックとはシャボン玉が割れてしまったことを意味します。彼らの安全地帯に土足で踏み入ってしまった誰かがいるのです。彼らを驚かせてしまっている何かがあるのです。身を守るために大好きなお友だちも先生も叩くしかない状況に追い込まれています。彼らのシャボン玉のバリアは守られています。近づく過ぎてシャボン玉に触っていませんか?良かれと思って...その熱心さがあだになることもあるのです。空回りしていませんか。特性を知らずに関われば互いに傷つけあっています。私たちのちょっとした配慮と工夫でシャボン玉は虹色に輝き、校庭の空を高く遊び舞うことができるのです。

### 指導者の心得

- 👉 人の感情や場の雰囲気を読むことが苦手な彼らは他者を理解し辛く時には恐れています。
- 👉 あなたのその行動は彼らの心理的スペースへの突然の侵入になっていませんか?
- 👉 突然の侵入にさらされるほど彼らのこだわりや不適切な行動は増えていきます。

### 【神戸北野校】開校のお知らせ

さくら子どもセンター 三宮校は、多くの洋館が残る北野エリアに拡張移転しました。

[神戸北野校] 神戸市中央区中山手通2丁目15-1 アトラス神戸中山手通101号



INFORMATION

お問い合わせ ☎ コールセンター 078-331-3200 (会員様専用 079-564-4192) [受付時間: 平日 / 土曜 9:00~18:00]

日々の指導風景はさくら子どもセンターHP内ブログ「さくら日記」(<https://ameblo.jp/2503sakura/>)に掲載しております。ぜひご覧ください。



今年度からグループ指導がスタートしたグループではみんなで学んでいくために大切なルールを学びました。



声のボリュームは、お話を聞くときは「0」、今話しているの先生の声は「2」。状況に合わせた声の大きさを学びました。



さくらっ子クラブのクッキングでは「白玉チョコ団子」を作りました！楽しい掛け声に合わせて上手に丸めていますね♪



勝敗のあるゲームでも、スムーズに受け入れられるのは学びの積み重ねがあるから。勝敗よりも皆で笑いあうこと、ゲームを通してのやりとりを楽しんでいるのですね♪



TEACCH学習では、細かいマグネットを使い指示書通りに一枚の絵を作りました。沢山のマグネットを使うこと、微調整することもありとても根気と集中がいる学習です。



エリクソン校のケイキマナスクールでは、お天気のいい日に森のおさんぽにでかけます。迷子にならないように、棒を持って出発！



さくらっ子クラブのそろばん教室では、大きなそろばんを使うので、初めてのお子さんでも安心して学習に取り組むことができます。



料理男子クラスではタコライスとフルーチェを作りました！材料を切りますが、包丁の扱いにもかなり慣れてきましたね。



料理男子クラスではタコ焼きを作りました。炒める人、調味料を準備する人、お皿を準備する人と、自分たちで役割を見つけ、分担できるところがさすがです！



## 5月の活動報告

ACTIVITIES IN MAY

さくらの日常を毎日発信している「さくら日記」から5月の活動をピックアップしました。



4月から英会話教室がエリクソン校さくらっ子クラブにお引っ越ししました。身体を使ったアクティビティーもたくさんできるので、楽しみながら英語に親しむことができます。



「すごいやん」「惜しかったなあ」「負けたけど楽しかった」など、グループでは素敵な言葉をたくさん聞くことができました。1つ1つの言葉を逃さず、指導者はアイコンタクトや言動で褒めて認めています。



さくらっ子クラブ実験遊びでは「空気の実験」をしました。一生懸命空気を入れて、空気のできるいろいろな持ち上げました！



最年長のグループでは、寝癖の直し方を学びました。幼い頃は「かわいいね」で終わりますが、社会人になるとそうはいかなくなります。何でもない方法ですが、やってみること、取り入れることはとっても大事ですね♪



模倣のトレーニングでは、先生が黙って作るブロックの車をじっと観察。どの色のブロックをどの順番でどこに積んだかを記憶し、模倣します。



良いお天気だったので、自由あそびの時間に中庭でチョークお絵描きをしました！うまく描けない、はみ出しちゃう、そんな心配がいらぬこの自由なお絵描きが、子どもたちは大好きです！



さくらっ子クラブでは、大好きなお母さんにカードを作りました！毎日家族のために一生懸命なお母さん、時々ご自身だけのリフレッシュタイムを作ってくださいね♪



さくらっ子クラブのプログラミング学習では自分の選んだキャラクターを動かしました。



GYMトレーニングでは、平均台の上を落ちないように素早く歩きました。1人ずつチャレンジした後はみんなでチャレンジ！同時に色々なことに気をつけながら進むのは難しいですが、とってもよく頑張っていました！